

提案名 内発的発展による岩手県沿岸地域のインバウンド交流人口拡大事業

資料5-2

(主な対象地域) 岩手県宮古市及びその周辺エリア 及び 大船渡市・陸前高田市及びその周辺エリア

事業の概要・定量的な成果目標

事業の概要: 地域事業者のインバウンド交流拡大のための「ノウハウの蓄積」・「学びの場の創出」を目的として、インバウンドの専門家による商品造成～情報発信～販売の一連の流れを地域事業者向けに実施しながら持続的活動体制の構築を行う。

定量的な成果目標: 主要メンバーの掘起し(10事業者)、海外エージェントへ紹介する最終ツアー商品造成数(10商品)、事業期間内の発信情報、OAT等へのアクセス数(2,500人)、送客数(50人)、現地滞在人泊数(200人泊)

課題

地域の事業者が、直接、インバウンド交流拡大の事業を展開することが一般的でなくインバウンド需要拡大のノウハウが蓄積されていない。

事業目的

自らが主体となって取り組めるだけのノウハウを蓄積する場を創出することで地域が内発的に発展しインバウンド交流拡大を促す。

事業の内容

内発的な交流人口拡大の視点

内発的発展によるインバウンド交流人口拡大事業の内容

内発的発展のための体制構築

【A. 人づくり】

A-1. デスティネーション・マネジメント体制構築の視点/A-2. 人材育成(学びと成長)の視点/A-3. 地域固有の価値(シビックプライド醸成)の視点

【B. 商品づくり】

B-1. 地域ブランドマネジメント視点/B-2. 相互連携機能視点/B-3. 相互ハブ機能視点

【C. お客様づくり】

C-1. コミュニケーション視点/C-2. ニーズ把握、フィードバック分析視点

【商品造成プログラムの実施】

▶外部専門家の協力を得ながら、地域資源棚卸、ツアー商品企画の策定・ブラッシュアップ・最終商品化を行う。
▶当該プログラムは、「宮古市エリア」と「大船渡市・陸前高田市エリア」の2か所で実施。
▶ツアー商品造成と平行して、インバウンド交流人口拡大を内発的に進める中核メンバーの育成、商品・サービスの提供に協力する主要メンバーの掘起し、地域間の調整や外部視点を入れる周辺メンバーの体制構築を行う。

【情報発信・販売プログラムの実施】

▶客づくりの視点から、インバウンド誘客のターゲットセグメントの情報流通構造を分析したうえでの情報発信内容・方法について中核・主要メンバーが学び実践する。
▶この上で、外部専門家支援を受けながら海外エージェントへの営業、OTAへの登録等のプロモーション活動実践、顧客ニーズ等の商品への反映・改善を実施する。

事業を通じて内発的発展のための地域での事業を促進を下図のような体制を構築

